

<札幌市の現在と将来に関する考察>

- ◆ 人口減少の緩和を進めることはもとより、人口構造を始めとする様々な変化に大きな影響を受けず、その変化を積極的に生かし持続的に成長していくことが必要

目指すべき都市像

「ひと」「ゆき」「みどり」の織りなす輝きが、豊かな暮らしと新たな価値を創る、持続可能な世界都市・さっぽろ

まちづくりの重要概念

| ユニバーサル(共生) | ウェルネス(健康) | スマート(快適・先端) |
|-----------------------------------|-----------------------------|--|
| 誰もが互いにその個性や能力を認め合い、多様性が強みとなる社会の実現 | 誰もが生涯健康で、学び、自分らしく活躍できる社会の実現 | 誰もが先端技術などにより快適に暮らし、新たな価値の創出に挑戦できる社会の実現 |

| 8分野 | No. | まちづくりの基本目標 |
|--------|----------------|---|
| 子ども若者 | 1 2 3 | 1 安心して子どもを産み育てることができる、子育てに優しいまち 2 誰一人取り残されずに、子どもが伸び伸びと成長し、若者が希望を持って暮らすまち 3 一人一人の良さや可能性を大切に教育を通して、子どもが健やかに育つまち |
| 生活暮らし | 4 5 | 4 誰もが健康的に暮らし、生涯活躍できるまち 5 生活しやすく住みよいまち |
| 地域 | 6 7 | 6 互いに認め合い、支え合うまち 7 誰もがまちづくり活動に参加でき、コミュニティを育むまち |
| 安全安心 | 8 9 | 8 誰もが災害に備え、迅速に回復し、復興できるまち 9 日常の安全が保たれたまち |
| 経済 | 10 11 12 | 10 強みを生かした産業が北海道の経済をけん引しているまち 11 多様な主体と高い生産性、チャレンジできる文化が経済成長を支えるまち 12 雇用が安定的に確保され、多様な働き方ができるまち |
| スポーツ文化 | 13 14 15 | 13 世界屈指のウィンタースポーツシティ 14 四季を通じて誰もがスポーツを楽しむことができるまち 15 文化芸術が心の豊かさや創造性を育み、世界とつながるまち |
| 環境 | 16 17 | 16 世界に冠たる環境都市 17 身近なみどりを守り、育て、自然と共に暮らすまち |
| 都市空間 | 18 19 20 | 18 コンパクトで人にやさしい快適なまち 19 世界を引きつける魅力と活力あふれるまち 20 都市基盤を適切に維持・更新し、最大限利活用するまち |

札幌市立大学の次期中期目標に関わる主な項目(抜粋)

「ユニバーサル」 施策の方向性と主な施策

<施策の方向性> → **障壁(バリア)を取り除くとともに、全ての人の利便性向上に向けた取組の推進**

- 移動経路・建築物～誰もが円滑に移動することができ、快適に利用できる施設等の整備
- 意識～心のバリアフリーの浸透と誰もが活躍できる環境の整備

<主な施策>

- 安全で快適な歩行空間、公園 ○ 利用しやすく配慮された構築物
- 多様性を尊重した学びの提供(国際感覚や異文化への理解を促進する取組の充実等)

「ウェルネス」 施策の方向性と主な施策

<施策の方向性> → **生涯を通じた健康づくりや社会参加の場の充実に向けた取組の推進**

- 健康寿命延伸に向け、各世代に健康的な行動を促し、その環境を整備する行うソフト・ハード両面からの対策。
- 精神的に充実し、人生100年時代に生き生きと活躍するために、学びや社会参加の場の充実。

<主な施策>

- 多様な主体による健康づくりの推進 ○ 大学と連携したリカレント教育

「スマート」 施策の方向性と主な施策

<施策の方向性> → **誰もが先端技術などにより快適に暮らし、新たな価値の創出に挑戦できる社会の実現**

- データの利活用・連携を推進するなど、地域社会のデジタル改革を推進。
- 産学官および住民等の共通認識を醸成するとともに、データ連携による新たな価値の創出を促進していく。

<主な施策>

- スマートシティ関連事業の推進(健康・医療・介護、教育・研究、防災・減災、モビリティ、環境・エネルギー等)
- 中小企業のDX支援、生産性向上支援 ○ デジタル人材の確保・育成

<施策の方向性> → **新たな価値を創出することができる人材の育成・定着**

- 産業振興の観点から、更なる成長が期待される地域産業を担う高度人材を育成、創出
- 若者の道外流出抑制のため、産学官連携の取組を推進

<主な施策>

- 市立高校・市立大学が連携した地域の特色ある教育の実施
- 市立大学において「AITセンター」を設置し、デザイン・看護分野とAI・IT分野を掛け合わせた専門性・実践能力を有する人材を育成するほか、AI技術を活用した産業振興及び地域課題の解決に資する研究を推進
- データサイエンス人材・グローバル人材の育成 ○アントレプレナーシップ教育の実施

分野ごとの目指す姿・私たちが取り組むこと

- 若者は、質の高い教育などを通して成長するとともに、安心して過ごせる居場所をよりどころに社会とつながり、将来への希望を持ちながら輝いています。【No.2目指姿3】
 - 大学、地域、企業などの連携 ○ 大学などにおける質の高い教育の提供
- 誰もが生涯にわたって学び、また、学び直しをすることができ、その成果が、日々の生活はもとより、まちづくり活動や仕事、ボランティア活動などに活かされています。【No.4目指姿2】
- 建物や道路などのバリアフリー化やユニバーサルデザインの導入が進み、誰もが円滑に移動することができ、快適に利用できる環境が整っています。【No.5目指姿2】
 - 多様な学びやスキルアップなどのための学び直しの機会の充実
 - バリアフリー化やユニバーサルデザインの導入の促進
- 行政、大学、民間組織などの関係機関が一体となり、起業家を育成・支援する体制や環境が充実し、誰もがチャレンジできる文化が根付くことにより、多くのスタートアップが生まれ続けています。【No.11目指姿3】
- 様々な企業の立地や創業が進むことにより、産学官連携や、国内はもとより海外の企業などとの交流が活発に行われ、ビジネスチャンスや新たな価値が創出され続けています。【No.11目指姿4】
- 多様な人材が自身の持つ能力を発揮し、(中略)高い専門性を生かすことができる職場で、若い世代を始めとした幅広い年代の人材が活躍しています。【No.12目指姿2】
 - 新たな技術や製品の開発に向けた産学官連携の促進 ○ 企業と大学や大学同士の積極的な交流
 - 職業能力の向上や自己啓発